



1. (上)隕石探査：雪上車の屋根に乗って隕石を探す。ただ寒いだけの作業である。



2. (左)やまと山脈：絶壁の上に立つ。前方に広がる裸水帯とモレーン。黒い点はベースキャンプ。



3. 南極隕石の産状：露出した古い氷の表面に隕石は置き去りにされている。

## 南極と隕石

南極は世界最大の隕石産地である。過去200万年程の間に南極に落下した隕石は、冷凍されながら氷床のベルトコンベアーに乗って運ばれ、その一部は山脈周辺の「裸水帯」に次々と出現し、蓄積していった。裸水帯こそ隕石の宝庫である。このことにいち早く気付いた南極観測隊は精力的に隕石を探査し、8,000個を上回る大量の隕石採集に成功した。この数は人類が保有する全隕石のほぼ半分に相当する。

隕石は宇宙誕生の謎や、生命の起源を解くカギを秘めた貴重な地球外物質である。この意味で南極隕石の科学的価値は非常に高い。本誌29-36ページ参照。

(国立極地研究所 隕石資料部門 矢内 桂三)